



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.83 2009.5.6

発行

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

「核兵器のない世界」へ

日本共産党・志位委員長がオバマ米大統領に書簡

オバマ米大統領は4月5日、チェコのプラハで、「核兵器を使用したことのある唯一の核兵器保有国として、米国は行動する道義的責任がある」と演説しました（裏面に抜粋を掲載）。これをうけて、日本共産党の志位和夫委員長は、4月30日に国会内で記者会見をおこない、オバマ大統領に対し、核兵器廃絶の国際条約を結ぶために積極的なイニシアチブを發揮することを強く求める手紙を送ったことを明らかにしました。

志位氏は会見で、オバマ大統領の演説について、①米国が「核兵器のない世界」

——核兵器廃絶を国家目標とすると初めて明示したこと、②広島・長崎での核兵器使用が、人類的道義にかかわる問題であることを初めて表明し、その立場から核兵器廃絶にむけた責任について語っていること、③「核兵器のない世界」にむけて諸国民に協力をよびかけたこと、の3つの点について注目したとのべました。

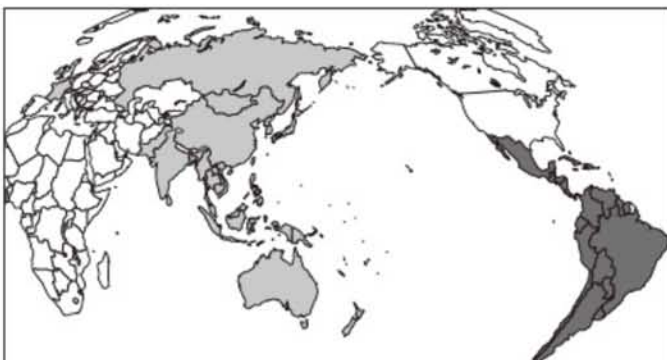
その上で、手紙では「人類にとっても、私たち被爆国の国民にとっても、歴史的な意義を持つものであり、私はそれを心から歓迎するものです」と表明したと紹介しました。



記者会見する志位和夫委員長
＝4月30日、国会内

日本国憲法 施行62年

いま9条が生きる時代です



「戦争をしない、戦争のための軍隊を持たない」—日本国憲法第9条の先駆性がきわだつ時代です。地図をご覧ください。世界はいま、この方向に大きく変わりはじめています。

■ = 平和解決、武力行使の禁止をうたう東南アジア友好協力条約（TAC）。25ヵ国37億人。世界人口の57%の地域に広がり、EUやアメリカも参加を検討。

■ = “アメリカの裏庭”といわれた中南米で、自主的な国づくりをめざす「中南米・カリブ海諸国機構」。アメリカ、カナダをのぞく33ヵ国が参加。

オバマ大統領のプラハでの演説より (4月5日 = 抜粋)

一発の核兵器がどこかの都市で爆発すれば、何十万の人々が犠牲となる可能性がある。それがどこで起ころうとも、国際の安全にも、われわれの安全保障にも、われわれの社会にも、われわれの経済にも、われわれの究極的な生存にも計り知れない影響となる。

…核保有国として一核兵器を使用したことのある唯一の核兵器保有国として、米国は行動する道義的責任がある。われわれは、この試みに単独で成功することはできないが、それを導き、始めることができる。

それゆえ、きょう私は、核のない平和で安全な世界を米国が追求していくことを明確に宣言する。

…われわれは、世界は変えられないという人たちの声にも耳を貸してはならない。われわれは強く主張しなければならない、「イエス・ウィ・キャン (われわれはできる)」と。



4月5日、プラハでの演説で核兵器のない世界の実現を訴えるオバマ米大統領

社会は変わるし、変えられる

医療後援会の企画で池内さおり衆院12区青年運動部長があいさつ

4月28日、岸町ふれあい館で、ほくと医療生協の日本共産党後援会と民青同盟生協病院班が主催する講演会「ドクター平山の深い話」が開かれ、ほくとの新入職員など約20人の青年らが参加しました。

この企画で、王子生協病院の平山陽子医師によるメイン講演に先立ち、日本共産党の池内さおり衆院東京12区青年運動部長があいさつしました。

池内氏は、政治に無関心だった自分が、学生時代にアフガニスタンで生まれた無脳症の子どもの写真と出会ったことで、戦争と政治について深く考えるようになったことを紹介。小林多喜二の生涯を描いた三浦綾子の小説『母』を読んで日本共産党の真の姿を知り、その後、入党を決意するまでの経緯を詳しく語りま

した。

また池内氏は、派遣切りにあった労働者や、後期高齢者医療制度に苦しむお年よりの実態もしめしながら、「政治を変えるためにたたかうことが必要。社会は変わるし、変えられる」と熱く訴えました。

参加者から「政治は縁遠いものと思っていたが、池内さんの話で身近に感じられた」などの感想が寄せられました。



ほくと医療生協後援会主催の講演会で訴える池内さおり衆院12区青年運動部長 (右) = 4月28日、岸町ふれあい館